

平成30年度 関西学生ハンドボール秋期リーグ戦

『マッチトレーナー活動』に関する報告書

日本ハンドボール協会トレーナー部会
近畿ブロック メンバー有志代表
大阪教育大学ハンドボール部
トレーナー 川崎久美子

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

去る平成30年8月25日～10月20日に開催されました、平成30年度年関西学生ハンドボール秋期リーグに於いて、日本ハンドボール協会トレーナー部会メンバーの有志にて設置させて頂きましたトレーナーブース・マッチトレーナー活動について、御報告申し上げます。

記

今期も前期同様、主に男女1部の試合が行われる会場にマッチトレーナー・トレーナーブースを配置・設置し、同日・同会場で行われる1部から6部までの約130試合において、隔たりなくトレーナー活動を提供致しました。

1) 設置について

- *主に男女1部チームの試合が行われる会場で行いました。
- *準備の際には、学連委員の方達に、毎回のブース設置にご協力頂きました。
- *各会場、大学様におかれましても、ベッド・椅子・テーブル等を貸出して頂き、会場内外に設置していただき大変助かりました。

2) 人員について

- *全日本インカレのような日本ハンドボール協会トレーナー部会の正式事業としてではなく、日本ハンドボール協会トレーナー部会近畿ブロックメンバーの有志とその関係者で行いました。
- *各トレーナーが対応可能な時間を組み合わせて、可能な限り1試合にトレーナーを1名配置しました。トレーナーの都合が合わない時、チームトレーナーを有するチーム同士の試合は『不在』としました。

3) 物資調達について

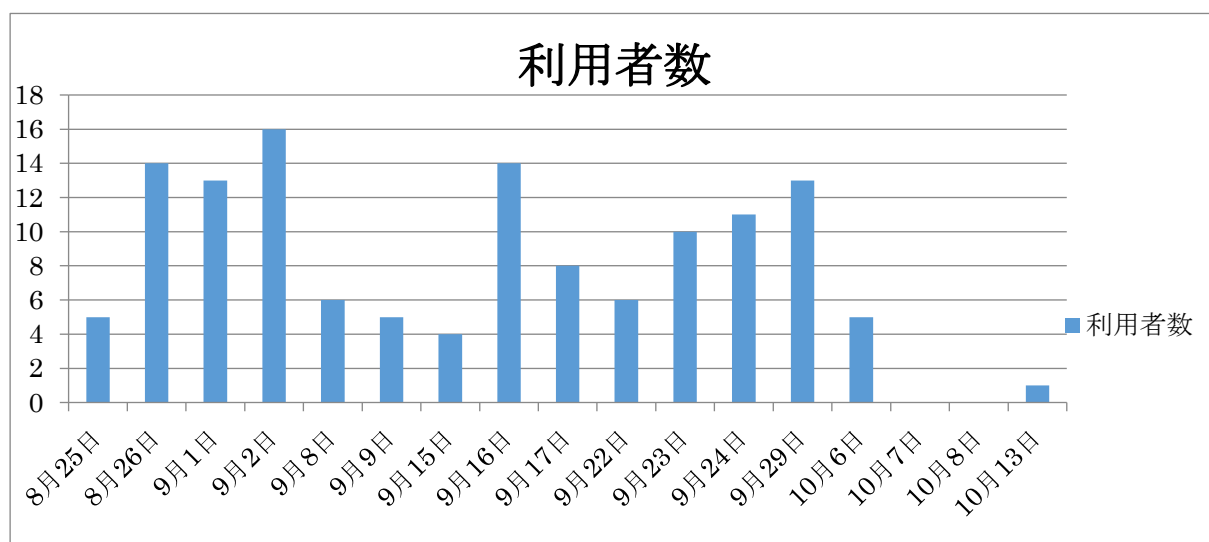
- *今年度春期リーグの際に、関西学連様に御購入頂きましたテーピング等の余剰物資及び新たな不足分の購入、有志の持ち出しで行いました。
- *関西学連様の御協力により、トレーナー活動費（昼食、交通費、担当日当）不足物資の資金援助(別紙)、ブース用テーブル・椅子等の設置にご支援を頂きました。

4) 業務内容

- *マッチトレーナーとして試合中、観察にて怪我の応急処置などの救急対応
- *試合前後のストレッチ・テーピング・アイシングやマッサージ等(レフェリー・大学チーム関係者含む)
- *怪我克服のためのトレーニング・セルフコンディショニングの指導
- *膝用固定ブレース・松葉杖の貸し出し(今期はなかった)

5) トレーナーブース利用状況

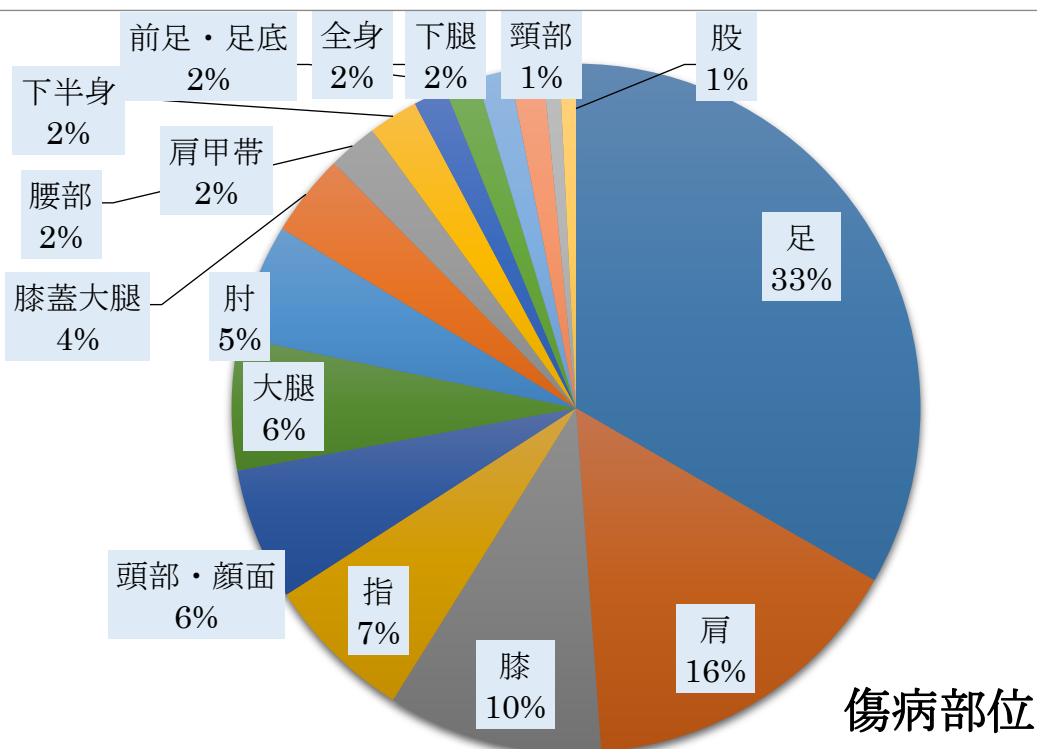
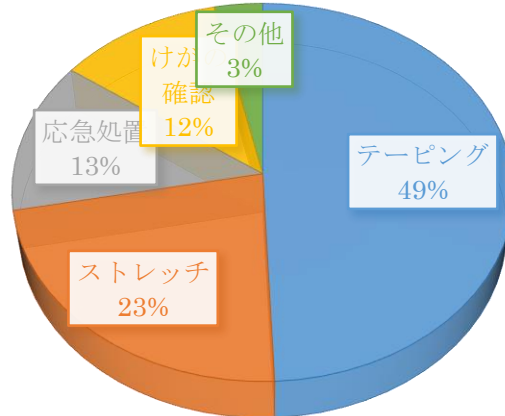
- *総利用者数は期間中延べ131名
- *最多利用日 16名 最少利用日は0名



6) 利用目的

*半数が試合前のテーピングでした
足部の捻挫後が多数でした

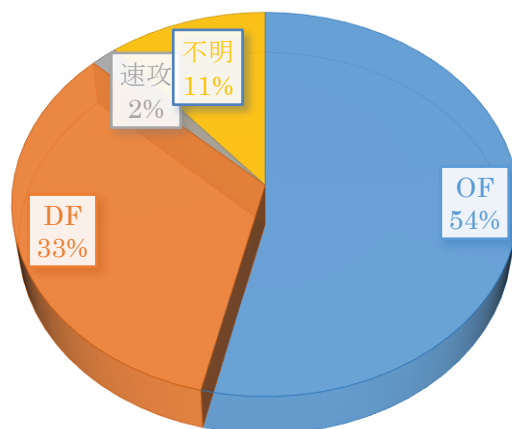
利用目的



7) 試合中対応した傷病部位等

*今期接触による受傷がた多く裂傷などが見られた

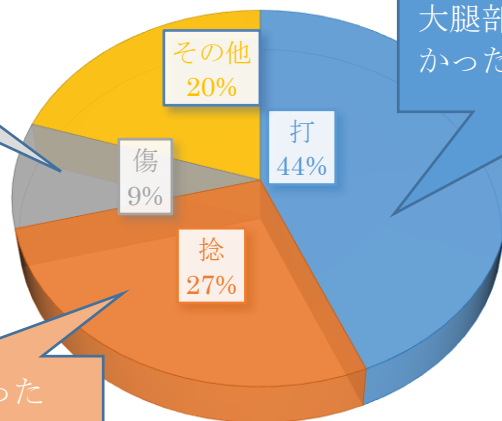
受傷の タイミング



接触に伴う顔面の
裂傷が見られた

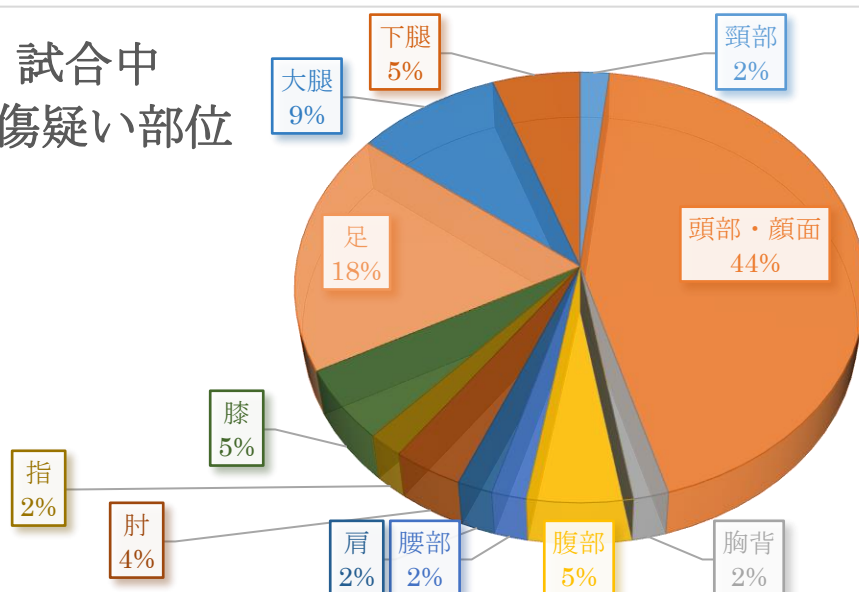
転倒に伴う後頭部 打
大腿部のももかんがやや多
かった

足の捻挫が多かった



受傷時

試合中 受傷疑い部位



8) 収支報告
別紙参照

9) 今後の費用負担についてのお願い

今年度、ブース設置に対し、ご理解いただき、予算を立てていただき、ありがとうございます。

今季で4回目となりましたが、やはり人員確保がまだまだ課題があり、主に出場大学に帯同するトレーナーが主体に行っているため、ブース運営を外部の方にお願いしている状況です。その際に「ボランティアで来ていただけますか？」とは言い難く、また、自チームの試合がない会場でのブース担当などでは本来の仕事を削っての協力になることもあり負担が大きくなってまいります。引き続き、交通費程度を日当として出せるような体制を作りたいと考えます。

また前年度からの観察において、春には膝や足の怪我、秋には接触による裂傷が多く見られました。

それに伴い、松葉杖や、ネックカラー(脳しんとう用)、膝のブレース(ACL 損傷用)などの貸し出し用品、裂傷時などのガーゼやテープなどの消耗品、衛生管理としての消毒などの消耗品も含め、受傷に対する応急処置を速やかに行うためにも、必要となって参ります

今後もブース運営にご理解をご協力のほどよろしくお願いいたします